

として、表面処理鋼板の腐食現象、耐食機構、および耐食性評価法の明確化が必要である。本討論会では、各種表面処理鋼板の腐食挙動、腐食機構、あるいは耐食機構を材料特性、腐食環境、および腐食形態などとの関連から討議するとともに、実環境での腐食をシミュレートするための試験法について討議を行う。これにより、表面処理鋼板の耐食性関連の現状認識を集約し、更に今後の研究課題を探りたい。関係各方面からの積極的な発表と討議を期待します。

(6)「機械構造用高強度非調質鋼」 座長 井上 毅(神鋼) 副座長 並木 邦夫(大同)

近年地球環境問題や CAFE 燃費規制にともなう自動車軽量化の要求を受け、自動車用機械構造用鋼の高強度化、非調質化のニーズが強まっている。非調質鋼は、従来焼入れ焼もどし処理により得ていた高強度、高靱性を圧延または鍛造ままで達成しようとするものである。このためミクロ組織的にもフェライト・パーライト、ベイナイト、オートテンパードマルテンサイト、残留オーステナイトなどの混合組織の強度、靱性という興味ある問題を、また用途開発の面からも材料設計、部品設計という重要な課題を含んでいる。基礎、応用の両面から多数の研究発表と活発な討議を期待します。

2. 申込締切日 平成 3 年 10 月 14 日(月)

3. 申込方法 討論会参加ご希望の方は討論会申込書を下記までご請求下さい。申込用紙には必要事項ならびに申込書裏面に 400 字程度の講演のアブストラクトをお書きのうえお申し込み下さい。

4. 討論講演の採否 討論講演としての採否は、前記ご提出のアブストラクトにより検討のうえ決めさせていただきますので、あらかじめお含みおき下さい。

5. 講演 平成 3 年 12 月 10 日(火)

原稿締切日 討論講演として採用された方は、本会所定のオフセット原稿用紙 4 枚以内(表、図、写真を含む)にワープロまたはタイプ印書として下さい。

6. 講演テーマ・講演者の発表 「鉄と鋼」(平成 4 年 3 月号)にて発表いたします。

7. 講演内容の発表 「材料とプロセス」(日本鉄鋼協会講演論文集) Vol. 5 No. 1, 2, 3 に講演内容を掲載いたします。

8. 問合せ・申込先 〒100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3 階

日本鉄鋼協会 編集・業務室 金川(かながわ) TEL 03-3279-6021(内線 246)

☆☆☆☆☆☆☆☆

● 熱プラズマ研究部会中間報告会案内

プラズマの高いエネルギーを利用したプラズマプロセッシングは、エレクトロニックデバイスから廃棄物処理に至る広い範囲にわたって利用されつつあります。熱プラズマ研究部会は、このような広範囲の材料プラズマの基礎研究、特に熱プラズマを中心とした研究を目的として、平成元年度に発足し、2 年が経過しました。日本鉄鋼協会第 122 回(秋季)講演大会(於、広島大学)の機会に、標記中間報告会を下記のとおり開催し、部会活動内容を中心に国内外の動向も併せて報告するとともに、活発な討論を行いたいと思います。多数の方々のご来聴をお待ちしております。

1. 主催 (社)日本鉄鋼協会 基礎研究会 熱プラズマ研究部会

2. 日時 平成 3 年 10 月 2 日(水) 午前中の予定

3. 会場 広島大学

4. プログラム

(時間帯未定) 座長 村岡 克紀(九大)

(1) プラズマプロセッシング技術の現状と将来展望

〈部会長〉阪大 溶接研○牛尾 誠夫

(2) 熱プラズマの基礎研究および発生活法

新日鉄 第一技研○武田 紘一

(時間帯未定) 座長 石井 邦宜(北大)

(3) 熱プラズマの鉄鋼プロセスへの応用

神鋼 神戸本社○藤本 英明

(4) 熱プラズマの非鉄金属製錬への応用

大同 特殊鋼研○竹内 宥公

(時間帯未定) 座長 宇田 雅弘(日新)

(5) プラズマ化学合成

川鉄 ハイテク研○鈴木健一郎

(6) 超微粒子製造および造粒

住金 鉄鋼技研○高祖 正志・小溝 裕一

(7) 電子ビーム応用技術

NKK 中研 中村 英夫、エレ研○長棟 章生

5. 問合せ先

(社)日本鉄鋼協会 技術室 生田 高紀・佐々木寿子

〒100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3 階 TEL 03-3279-6021 FAX 03-3245-1355